SG ホールディングス株式会社

SG ホールディングスグループは佐川急便を中核に持つ総合物流企業グループであり、デリバリー、ロジスティクスおよび不動産などの事業分野でビジネスを展開しています。約27,000台の車両を使用し、グループ全体では約41万t（2018年度）のCO_2を排出している物流事業者として、環境に与える影響の軽減に取り組むことは大きな責務であると考えています。

SG ホールディングスグループの環境への取り組み〈主な事例〉

気候変動に関する取り組み

◆ サービスセンターの設置

佐川急便は、トラックなどを使用せず台車や自転車などで集配を行う「サービスセンター（SC）」を全国に331か所設置しています。１か所当たり３～５台の車両使用を抑制でき、全センター合計では車両約1,500台分のCO_2や大気汚染物質を排出削減しています。

2019年３月より集配用電動アシスト自転車「TRIKE CARGO」を試験的に導入しており、従来の４倍となる150kg（軽トラック積載量の３分の１）まで荷物を積載することができます。

サービスセンター

資源循環に関する取り組み

◆ 環境配慮型物流施設

SGリアルティでは、電力の安定供給と環境負荷低減につながる物流施設の開発を行っており、現在、太陽光発電設備のあるグループの配送拠点・流通センターは全国に99施設あります。

パネルの設置総面積は197,273m²、2018年度の年間総発電量は27,506MWhにのぼります。

また、2018年２月に竣工したSGリアルティ和光においては、最新の自家消費型太陽光発電システムを導入しており、太陽光パネルによる自然エネルギーの創出によって、年間エネルギー消費量の実質ゼロを実現しています。

SGリアルティ和光

私たちと SDGs との関わり

SG ホールディングスグループは、総合物流企業グループとして、事業を通じた社会課題解決を図り持続的な成長を目指しています。
2019 年度からの３年間に向けた中期経営計画「Second Stage 2021」では、重点施策のひとつとして「SDGs への貢献」を掲げました。
また、CSR 重要課題として７課題を特定し、それぞれのテーマに沿ってグループ各社で取り組みを推進しています。

◆ 7 つの重要課題 と SDGs への貢献

安心・安全なサービスの提供	当社グループの運送事業による年間総走行距離は日本国内だけでも約4.2億キロメートル、保有車両は約27,000台に上ります。交通事故などのインパクトを最小化することは、この事業に携わる者の責務です。SDGsで掲げられている「2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる」という目標に対して取り組んでいきます。
環境に配慮した事業推進	当社グループでは、物流事業を通じて車両や物流施設での各種設備によるエネルギー使用が環境に影響を与えていることから、「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「13 気候変動に具体的な対策を」に対して取り組んでいきます。
個性・多様性を尊重した組織づくり	当社グループは、多くの人が関わる物流ビジネスを主として営んでおり、一人ひとりのモチベーションの維持・向上は重要な課題です。また、男性比率の高い職場が多いことから、「5 ジェンダー平等を実現しよう」、「8 働きがいも経済成長も」に対して取り組みます。
総合物流ソリューションによる新しい価値の創造	物流の効率化やテクノロジーの活用により、「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「13 気候変動に具体的な対策を」に貢献します。
地域社会への貢献	国内外の様々な地域で事業を展開している企業グループとして、環境・経済・社会の観点から総合的にSDGsの実現に向けた取り組みを行っていきます。
サステナブル調達の推進	約16,000社のビジネスパートナーとの連携において、人権や安全面に配慮したお取引はもちろんのこと、環境面や地域への貢献など多方面において協力しながら、ともにSDGs全体の達成に貢献していきます。
責任ある経営基盤の構築	経営基盤となる「コーポレートガバナンス」「コンプライアンス」「リスクマネジメント」は、事業活動すべてにつながる重要課題です。持続可能な経営体制の構築への取り組みを通じてSDGs全体の達成に貢献します。

SG ホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。